

ハッピー・マネー教室に参加した子どもたちの声

—おカネに対するイメージに今までは少なからず悪いものがありました。しかし、お話を聞いて、おカネをつかって自らを向上させ、多くの人の支持を得て感謝されている人も確かにいると思います、果たして本当に欲のままにおカネを得ている人ばかりなのか、私なりに考えました。おカネで築いた社会での関係は、信頼と期待の証拠で、感謝で続くものだと気づきました。社会に出るにあたり、決して誤解してはならないおカネへのイメージが改まりました。貴重なお話を本当にありがとうございました。(中二女子)

—僕は今まで、働くようになったらおカネをもらうためにきつい仕事をしなくてはいけないと思っていました。でも、「おカネをもらう＝感謝される」ということを聞いて将来はたくさん感謝されるように頑張りたいと思いました。そして、お金持ちではなく「しあわせ持ち」になっていきたいと思います。(中二男子)

—私たちが商品を買う時に払ったおカネが会社の経営につながり、そこから両親が給料をもらい銀行に入る。そしてATMからおカネが引き出せる。この関係性が今回の話で詳しく分かることができました。(中二女子)

—先生のお話を聞いておカネは物を買う以外にも使い道があることを知りました。それが「寄付」、「投資」です。投資は自分が良いと思った会社におカネを使ってもらくと、それが増えて戻ってくるというものです。寄付は災害にあった人たちや貧しい人たちにおカネを分けてあげるといいます。こちらは形あるものはもらえませんが、温かい感謝の言葉が返ってきます。つまり、良いことをすれば必ず自分に返ってくるのです。僕も将来、良いことをたくさんしておカネと喜びの両方を持てるようにしたいです(中二男子)

—今の私にとって勇気づけられる話でした。勉強が嫌で仕方なかったのですが、これからは「投資」として、後からの喜びを期待して勉強していきたいです。(中二女子)

—「今の自分にとって都合の悪いことを悪いことと思わない」、「今の自分にとって都合の良いことを良いことと思わない」という言葉が心に残りました。家に帰ったら投資の本を読んで勉強しようと思います。(中二男子)

—講和を聞いて「面白い、楽しい」と感じました。それは先生が分かりやすくご自身の実体験や具体的な例え話を交えてお話して下さったからだと思います。難しそうな話も頭に入っていく、メモを見直した時に両親に先生のお話を伝えられたのは驚きました。「チョコレートは人々の労働のおかげで食べられる。そのことに感謝する代わりにおカネを出す。おカネは感謝のしるしなんです」と伺い、私は恥ずかしくなりました。なぜなら、そんなふうを考えておカネを使ったことがなかったからです物を買う時にも考え方の違いで、払うおカネの価値が変わると思います。また、「投資とは、いま少し我慢して将来の自分のためになることをすること。それは勉強と同じです」という言葉を聞いて今の私に出来ることは精一杯勉強の投資をするこ

とだと考えました。(中二女子)

——今回の話でお金持ちへの印象が変わりました。テレビなどでよく見るように、お金持ちは暴力団とつながっていたり、一般人を見下していたりしていると思っていました。岡本さんからおカネのイメージが変わる話をしてもらえるとはいちもしていなかったのでびっくりです。幸せはおカネだけじゃなく、友達、家族、社会貢献などともあることを聞いて、たくさんのしあわせがあることを知りました。(中二男子)

——今まで考えたことのなかった新しいおカネの見方を知りました。お話を伺いおカネは感謝のしるしであり、人とのつながりを可能にするものだとなりました。投資は今、我慢をして将来、成果や喜びを得るもので、勉強も投資と同じということを伺って改めて勉強の大切さを感じました。(中二女子)

——おカネはサイクルになっていることが分かった。親が仕事をしておカネをもらって、そのおカネでスーパーなどで買い物をして、そのスーパーはもらったおカネで売り物を仕入れるというサイクルになっていることを気づきました。(中二男子)

——先生の講和をお聞きするにあたり、先生の著書である「賢い芸人が焼肉屋を始める理由」の一部を読ませていただきました。この著書では「和風」の資産運用という言葉がたくさんでてきて興味を持ちました。日本人には分散投資が向いているという考えを知り、難しく考えていた株への先入観が薄まりました。昔と今の金銭に関する意識の違いを質問したところ、「昔は清貧、今は清富である」とおっしゃったのが印象に残りました。(中二女子)

——「今、目の前のことを精いっぱいやる」という言葉に感動しました。やっぱり小さなことをコツコツとやっていくのが良いんだなあと思いました。岡本さんが子どものころには具体的な夢などなかったと聞き安心しました。だから小さなことをクリアしていき、大きな目標をかなえたいと思いました。(中二男子)

——おカネの使い道のお話が特に印象に残りました。おカネには「消費」、「貯蓄」、「投資」、「寄付」の四つの使い道があることを知りました。その中で私が特に気になったのは「投資」です。投資とは今少し我慢して将来、大きな成果を得ることだそうです。そして、それは私たちが今している勉強にも同じことが言えるそうです。今、様々なことにチャレンジし、一生懸命取り組むことで、自分の中に眠っている宝石の原石に色々な方向から光を当て、宝石の原石を発見し、磨き、その分野で一流になれるということが分かりました。「できない」と「しない」は違うというお言葉が特に印象的でした。(中二女子)

——自分は今までお金持ちになりたいとは何度も思いましたが、お金持ちになってどうするのだと思ったことも同じぐらいありました。岡本さんはお金持ちよりしあわせ持ちになることが人生の目的であると言ったので今回の話をもとに、しあわせ持ちになることを考えてみたいです。(中二男子)

——僕はどうせお金持ちになんかなれるわけがないと思っていました。でも、岡本さんが一日ひとつでも誰かを喜ばせることをすればしあわせを味わえると言っていたので、これならやってみようと思いました。将来の自分を支えるのは今の自分だけと聞き、これからは「ためる」、「つかう」、「ゆずる」、「ふやす」を心がけたいと思いました。人を喜ばせてしあわせ持ちになりたいです。(中二男子)

——おカネの使い方が四つあるということにとっても興味を持ちました。やはり、自分にとっては「貯める」が一番大切だと思いました。どうしてもおこづかいをもらおうと「使う」にいつてしまうので少しずつでも貯金しようと思いました。株を買う時は慎重に買うのがすごく重要だと思いました。この会社は成長すると分かったところの株を買う。もし、失敗しても貯金があればまたやり直せると思いました。とても勉強になりました。(中二男子)

——おカネは人の感謝を裏に抱えたきれいなもの。自分のため、少し先の自分のため、ずっと先の自分のため、他人のためと、おカネの使い方はたくさんあることが分かりました。(中三女子)

——僕は親に将来を見据えて頑張れと言われていました。でも、僕は将来のことがわからないのでどうすれば良いのかわかりませんでした。今日の話聞いて足元の事を頑張れば良いということに元気をもらいました。また、ポテンシャルのない人はいないという言葉に勇気づけられました。(中三男子)

——親は私たちに「おカネの管理ができるようになってほしい」という思いでお小遣いを渡していることを知りました。この授業を聞く前はおカネという言葉を知ると嫌なイメージしかありませんでした。しかし、この授業でおカネという言葉に対する考えが180度変わりました。(中三男子)

——おカネと心がリンクしていることを学びました。思いやりがあって、ゆずる心があれば、自分もうれしいし、相手もうれしくなると思いました。おカネの使い道を考えさせられる、とても未来のためになる話をありがとうございました。(中三男子)

——寄付を受けた被災地の方の笑顔の写真を見せてもらいました。おカネは人を笑顔にできる！すごい事だと思いました。人間の優しい心はおカネで表すことができるんだと分かりました。(中三女子)

——具体性を持たせた話であるにも関わらず抽象的な事柄にも当てはまり、物事に対する根幹を揺るがすような、価値観に影響を与えるような話でした。この話を聞いて私のなかの何かが変わった気がします。(中三男子)

——一学年下のクラスは少し荒れているので、来年も来て彼らに授業をしてあげてください、

(中三男子)

——他の人のためになる仕事をして給料をもらうことが幸せだということがよく分かりました。おカネだけでなく、健康、家族、趣味などが充実して、はじめて本当に幸せになれるのだということ学ぶことができました。また、私は無駄遣いをしてしまうことがあるのですが、お話を聞いてそのおカネを寄付にしたいと思いました。一日一善というお話で、「ありがとう」と一言発するだけでも良いと分かったので、両親や友達などに感謝の気持ちを日々伝えたいです。

(高一女子)

——会社は儲けることを考えるのも、もちろん大切かも知れませんが、それ以前に「お客様が一番喜ばれることをする」という根本的で簡単なように聞こえるけど見落としてしまいそうなシンプルなことが、トップになるためには必要なのだと分かり、改めて考えさせられました。(高一女子)

——今回のお話を聞いて、おカネは感謝のしるし、しあわせになるための一つの道具であるということを知りました。使う、貯める、ゆずる、増やすという四つのおカネの使い方に驚きました。私はいままで貯金をするだけでしたが、人におカネを使ってもらって増やしたり寄付などをしてゆずったりと色々な方法があることを学びました。効率の良い買い方は、自分が本当に欲しいものを買ひ、安いからといって考えもなく無駄に物を買ったり、流行の物などを買ったりしないようにすることが大切だと思いました。(高一女子)

——自分のしあわせの六角形を考えてみて、自分にとっておカネよりも大切なことがたくさん見えてきました。それと同時におカネの価値、大切さが分かりました。おカネはそれなりの責任を持ち、正しいおカネの使い方を学んでから使うべきだと思いました。将来、おカネを稼ぐときに「世の中のためになることをして人々に感謝される」ということを大切にできる大人になりたいです。(高一女子)

——「しあわせ持ち」という言葉は初めて聞いた言葉でした。「人生の目的はしあわせになること」という言葉を常に頭に残しておきたいです。(高一女子)

——一番大切なことは「自分の内側の小さな自分が『やめろ』ということをしなさい」、「目の前にある良い事を一生けんめいにする事」だと分かりました。「オンリー1＝ナンバー1」という言葉から、自分にできる事を行動していこうと思いました。いつも兄にいじわるをしてしまうので、たまには「一日一善」で兄にも優しくしてあげようとも思いました。(高一女子)